

カブける方としてのキリストの中に住む——キリストを経験する秘訣

聖書：ピリピ 4:12-13. ヨハネ 14:23. 15:4-5. I ヨハネ 2:27-28. 3:24. 4:13. 啓 21:3, 22

- I. わたしたちは、カブける方としてのキリストの中にある秘訣を学ぶ必要があります：
- A. ピリピ第4章12節から13節で、パウロは言います、「わたしは卑しくなる道を知り、また豊かになる道も知っています。あらゆる事において、またいっさいの事柄において、わたしは飽くことにも飢えることにも、豊かであることにも乏しくあることにも、秘訣を学びました。わたしは、わたしをカブけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです」：
1. 「秘訣を学びました」という語句は、パウロが新しい状況、新しい環境に入ったことを示しています。わたしたちは新しい環境に置かれるときはいつでも、その環境の中で生きる秘訣を学ぶ必要があります：
    - a. 「わたしは……秘訣を学びました」は、文字どおりには、「わたしは入門しました」を意味します。この比喻は、人が秘密結社に入門して、その基本原則を教えられることを言います。
    - b. パウロはキリストに回心した後、キリストとキリストのからだの中に入門しました。
    - c. そして、彼はどのようにキリストを命とし、キリストを生き、キリストを大きく表現し、キリストを獲得し、召会生活を持つかの秘訣を学びました。これらすべては基本原則です。
  2. 「あらゆる事において」は、それぞれの事柄においてを意味します。「いっさいの事柄において」は、すべての事柄においてを意味します。これら二つの語句を加えると、人生の行程におけるすべての事柄を含みます。
  3. パウロはどんな事でも、どんな場所でも、キリストを経験する秘訣を学びました。これは、さらに多くのキリストをわたしたちの内側に蓄積させる秘訣でもあります。
  4. その秘訣はピリピ第4章13節にあります、「わたしは、わたしをカブけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです」：
    - a. パウロはキリストにある人でした（II コリント 12:2）。そして、彼は他の人によってキリストの中に見いだされることを願いました。今、パウロは彼の中で、すなわち、パウロをカブけてくださるキリストの中で、いっさいの事柄を行なうことができると宣言しました：
      - (1) これは、キリストに対する彼の経験についての、すべてを含む、結論の言葉です。それは、わたしたちと主との有機的な関係についての主の言葉、「わたしを離れては、あなたがたは何もすることができない」（ヨハネ 15:5）の裏返しです。
      - (2) 「カブける」のギリシャ語は、「内側で活動的にさせる」を意味します。
      - (3) キリストは、わたしたちの内に住まわれます（コロサイ 1:27）。彼は外側からではなく、内側からわたしたちをカブけ、活動的にさせます。そのように、

内側で力づけられることによって、パウロはキリストの中で、いっさいの事柄を行なうことができました。

b. パウロは完全にユダヤ教の中で、律法の下におり、常に他の人によって、律法の中に見いだされていました。しかし彼は回心の時、律法と以前の宗教から、キリストの中に移され、「キリストの中にある人」となりました——Ⅱコリント 12:2。

c. 今やパウロは、彼を観察するすべての者、すなわちユダヤ人、天使たち、悪鬼どもによって、キリストの中に見いだされることを期待しました。これは、彼の全存在がキリストに浸し込まれ、キリストで浸透されて、パウロを観察するすべての者が、彼を完全にキリストの中に見いだすことを、彼が切望していたことを示します。わたしたちがキリストの中に見いだされてはじめて、キリストは現され、大きく表現されます——ピリピ 3:9 前半、1:20。

B. 一方で、わたしたちはキリストが力づけることによって、満ち足りた生活をすることができます (4:11-12)。もう一方で、わたしたちはキリストが力づけることによって、真実で、誉れがあり、義であり、純粹であり、愛らしく、好評であることができます (8 節)。

C. 力づける方としてのキリストについてのパウロの言葉は特に、キリストがわたしたちを力づけて、彼をわたしたちの人性の美德として生きさせ、それによって彼の無限の偉大さにおいて彼を大きく表現させることに適用されます。これらの美德の生活をするには、キリスト教の働きを行なうことよりはるかに難しいのです。

**II. 力づける方としてのキリストの中にいる秘訣を学ぶことは、キリストの中に住む秘訣を学ぶことです。キリストの中に住むことは、彼の中に住むこと、彼との交わりの中にとどまることであり、それは彼がわたしたちの中に住むことを、わたしたちが経験し享受するためです——ヨハネ 15:4-5。 I ヨハネ 2:27 :**

A. キリストの中に住むことは、神聖な三一の中に住むことです。すなわち、キリストをわたしたちの住まいとすることです—— 6, 24, 27-28 節。 3:6, 24。 4:13 :

1. キリストの中に住むとは、御子の中に、また御父の中に住むことです (2:24)。

これは、主の中にとどまり、住むことです (ヨハネ 15:4-5)。

2. キリストの中に住むとは、神聖な命の交わりの中に住むことであり、また神聖な光の中を歩くこと、すなわち、神聖な光の中に住むことです—— I ヨハネ 1:2-3, 6-7。 2:10。

B. キリストにわたしたちの中に住んでいただくとは、神聖な三一と共に生きることです。それは、キリストの臨在をわたしたちの享受とし、彼にわたしたちと一になっていただくこと、またわたしたちの存在のあらゆる部分とわたしたちの生活のあらゆる面で共にいていただくことです——マタイ 1:23。 18:20。 28:20。 II テモテ 4:22。

II コリント 2:10。 I コリント 7:24 :

1. キリストにわたしたちの中に住んでいただくとは、キリストの言葉をわたしたちの中に住まわせて、残る実を結んで、御父に栄光を得させることです——ヨハネ 15:7-8, 16。

2. キリストにわたしたちの中に住んでいただくとは、三一の神の臨在としての実際

の霊に、わたしたちの中に住んでいただくことです—— 14:17。

Ⅲ. わたしたちは、わたしたちの王また王たる住まいとしてのキリストの中に住む必要があります。それによって彼はわたしたちの中に住み、わたしたちを彼の王妃また彼の王たる住まい、彼の栄光の召会とすることができます——詩 45:13, 8. ヨハネ 15:4-5. エペソ 5:27. 啓 22:5. ローマ 5:17. 参照、雅 6:4 :

- A. キリストの中に住むとは、わたしたちの主としての永遠の神である彼の中に住み、彼の中で生活し、彼をわたしたちのすべてとすることです——ヨハネ 15:4-5. I ヨハネ 4:15-16. 啓 21:22. 申 33:27 前半. 詩第 90 篇。
- B. わたしたちは神の中に住み、絶えず彼の中で生きる必要があります。なぜなら、彼の外には罪と苦難があるからです—— 3-11 節. ヨハネ 16:33。
- C. 神をわたしたちの住まい、わたしたちの永遠に住む場所とすることは、神に対する最も高く、最も満ち満ちた経験です——詩第 91 篇。

Ⅳ. キリストの中に住んで、彼をわたしたちの住まいとすること、また彼にわたしたちの中に住んでいただいて、わたしたちを彼の住まいとすることは、手順を経て究極的に完成された三一の神と、贖われ、再生された信者たちとの宇宙的な合併の実際の中に生きることです——ヨハネ 14:2, 10-11, 17, 20, 23 :

- A. 新エルサレムは、手順を経て究極的に完成された三一の神と、再生され、聖別され、更新され、造り変えられ、同形化され、栄光化された、三部分から成る召会との究極的な合併です——啓 21:3, 22。
- B. 新エルサレムは、神の幕屋であり、幕屋の中心は、隠されたマナとしてのキリストです。この宇宙的な神性と人性の合併、すなわち、神と人との相互の住まいの中へと合併される道は、隠されたマナとしてのキリストを食べることです—— 3 節. 出 16:32-34. ヘブル 9:4. 啓 2:17。

Ⅴ. わたしたちがキリストの中に住み、彼にわたしたちの中に住んでいただくことは、彼を愛することによります——ヨハネ 14:21, 23 :

- A. わたしたちが主イエスを愛するとき、彼はご自身をわたしたちに現します。そして御父が彼と共にやって来て、わたしたちと共に住まいを造り、わたしたちの享受となります。この住まいは相互の住まいであって、その中で三一の神はわたしたちの中に住み、わたしたちも彼の中に住みます—— 23 節。
- B. わたしたちが主を愛すれば愛するほど、ますますわたしたちは彼の臨在を持ちます。わたしたちが彼の臨在の中にいればいるほど、ますますわたしたちは、わたしたちにとって彼であるすべてを享受します。主の回復は、主イエスを愛することの回復です—— I コリント 2:9-10. エペソ 6:24。

Ⅵ. わたしたちがキリストの中に住み、彼にわたしたちの中に住んでいただくことは、すべてを含む油塗りの内側の教えを顧慮することによります—— I ヨハネ 2:27 :

- A. わたしたちがキリストとの神聖な交わりの中に住むのは、主の血の清めを経験することによってであり、油塗る霊をわたしたちの内なる存在に適用することを経験することによってです——ヨハネ 15:4-5. I ヨハネ 1:5, 7. 2:20, 27。
- B. かしらとしてのキリストは、油塗られた方であり、油塗る方でもあります。わたしたちは彼の肢体であって、彼を内なる油塗りとして享受し、彼の定められた御旨を

完成します——ヘブル 1:9, 3:14. II コリント 1:21-22。

C. 油塗りは、わたしたちの内側の複合の霊の動きと働きであり、そして神をわたしたちの中へと油塗ります。それによってわたしたちは、神で浸透され、神を所有して、神の思いを理解します。油塗りは、からだのかしらであるキリストの思いを彼の肢体に伝えます。それは命の内なる感覚、内なる知覚によってです——詩第 133 篇。

I コリント 2:16. ローマ 8:6, 27。

D. かしらがからだの一體に行動してほしいとき、彼は内なる油塗りを通してそれを人に知らせます。わたしたちが油塗りに従順であるとき、命はかしらからわたしたちへと自由に流れます。もしわたしたちが油塗りを拒絶するなら、わたしたちとかしらとの関係は妨げられ、わたしたちの内側の命の流れは止まります——コロサイ 2:19。

E. その霊の油塗りの教えは、正しいか間違っているかとは何の関係もありません。それは命の内なる感覚です——使徒 16:6-7. II コリント 2:13。

F. もしわたしたちの天然の命が十字架によって対処され、わたしたちがキリストの頭首権に服従し、からだの命を生かし出すなら、わたしたちはその霊の油塗りをもち、からだの交わりを享受します——エペソ 4:3-6, 15-16。

**VII. わたしたちがキリストの中に住み、彼にわたしたちの中に住んでいただくことは、わたしたちの霊の中にある命の霊の法則に「スイッチを入れる」ことによります——ローマ 8:2, 4 :**

A. 主がわたしたちの中に住み、わたしたちが彼の中に住むことは、完全に彼がわたしたちの霊の中の命を与える霊であるという事柄です。わたしたちの霊の中の、満ちあふれる、限りのない霊によってわたしたちは、わたしたちと神が一であり、わたしたちが互いの中に住んでいることを、十分な確信をもって知ります——I コリント 15:45 後半. ローマ 8:16. I コリント 6:17. ペリピ 1:19. ヨハネ 3:34. I ヨハネ 3:24. 4:13。

B. カづける方としてのキリストの中にわたしたちが住み、活動する内なる神、すなわち、命の霊の法則としての彼にわたしたちの内側で動いていただく道は、いつも喜び、絶えず祈り、あらゆることで感謝することによります——ペリピ 4:13. 2:13. I テサロニケ 5:16-18. コロサイ 3:17。

**VIII. わたしたちがキリストの中に住み、彼にわたしたちの中に住んでいただくことは、わたしたちの外側にある聖書の中の恒常的な言葉と接触し、またわたしたちの内側にあるその霊としての現在の言葉と接触することによります——ヨハネ 5:39-40. 6:63.**

**II コリント 3:6. 啓 2:7 :**

A. 外側の書かれた言葉によって、わたしたちは奥義的な主についての説明、解釈、発表を持ちます。内側の生きた言葉によって、わたしたちは内住のキリストの経験を持ち、実際の主の臨在を持ちます——エペソ 5:26. 6:17-18。

B. もしわたしたちが主の恒常的な書かれた言葉の中に住むなら、彼の即時的な生きた言葉はわたしたちの中に住みます——ヨハネ 8:31. 15:7. I ヨハネ 2:14。

C. わたしたちは彼の中に住み、彼の言葉もわたしたちの中に住みます。それによってわたしたちは彼の中で語り、彼もわたしたちの中で語り、神を人の中へと建造し、

人を神の中へと建造します——ヨハネ 15:7. II コリント 2:17. 13:3. I コリント 14:4  
後半。